

2022年1月21日

各 位

SBSホールディングス株式会社

2022年度グループ安全スローガンを決定 —2つのカテゴリでより分かりやすく、更なる安全強化を図る—

SBSグループは、1月4日、運輸安全マネジメントに基づく安全啓発活動のひとつである、2022年度SBSグループ安全スローガンを決定しましたのでお知らせいたします。



SBSグループでは、事故ゼロの実現を目指した重要な施策のひとつとして、年間の「安全スローガン」をグループ従業員から公募し、定めています。今年からは、グループ内に運送業以外の事業所もあることを踏まえ「交通安全関連」と「事業所の安全関連」の2つカテゴリを設置。昨年より3,495件増の17,457件の応募がありました。

運輸安全推進委員会による審査と従業員の最終投票による選考の結果、「交通安全関連」ではSBSゼンツウ株式会社 野村智也（のむらともや）の「運転は 広い心と 広い視野」、「事業所の安全関連」では昨年グループ入りした株式会社日ノ丸急送から木原功（きはらこう）の「思い込み 油断の焦りが 事故のもと」が最優秀賞に決定しました。

2つの最優秀賞作品は年間スローガンとして全事業所にポスター掲示するほか、入賞作品も交通安全関連と事業所の安全関連を隔月で月間スローガンとし、併せてグループウェアや社内刊行物へ掲載します。SBSグループは今年も従業員一丸となり事故ゼロを目指します。

交通安全関連	事業所の安全関連
<p>2022年度 SBSグループ安全スローガン【交通安全関連】 </p> <p>運転は 広い心と 広い視野</p> <p>SBS ゼンツウ株式会社 小平営業所 野村 友哉</p>  <p>最優秀賞の野村（左）と所長の三ヶ尻</p>	<p>2022年度 SBSグループ安全スローガン【事業所の安全関連】 </p> <p>思い込み 油断と焦りが 事故のもと</p> <p>株式会社日ノ丸急送 松山物流センター 木原 功</p>  <p>最優秀賞の木原（左）とエリア統括の木村</p>
<p>【入賞者】高田正道（SBSフレックネット）、森田昌宏（SBS即配サポート）、榎本大陸（SBSゼンツウ）、松川弘美（SBSロジコム）、石崎正巳（TLロジサービス）、金井理紗（SBSゼンツウ）</p>	<p>【入賞者】赤松隼人（SBSロジコム）、高橋俊晴（SBSリコロジステックス）、若木数司（SBSフレック）、小野裕美（SBSフレックネット）、渡部大輔（TLロジサービス）、柴田結花（SBSロジコム）</p>

以 上

■ご参考

< S B S グループ概要 >

持株会社：S B S ホールディングス株式会社（S B S グループ持株会社）

設立：1987年12月

代表者：代表取締役社長 鎌田 正彦

上場：東京証券取引所市場第一部（証券コード：2384）

本社住所：東京都墨田区太平4丁目1番3号 オリナスタワー

資本金：39億円

売上高：2,571億円（連結、2020年12月期）

従業員数：21,840名（うち正社員9,742名、連結）

事業内容：S B S グループは、1987年の創業以来、物流ならびに物流に付帯するサービスを充実させ、ワンストップの物流サービスをご提供することで、お客様の利益創造に貢献してまいりました。グループ内には、食品から超重量物までさまざまな商品を扱う企業群、路線、区域、即日配送まで多様な配送形態にお応えできる企業群、そして、物流施設開発、環境物流などの専門的な企業群を有しています。

主なグループ企業

主 要 企 業 と 主 な 事 業	S B S 東芝ロジスティクス株	総合物流、3PL、4PL
	T L ロジサービス株	営業倉庫、港湾運送
	S B S リコロジスティクス株	総合物流、3PL
	S B S 三愛ロジスティクス株	精密機器配送、3PL
	S B S ロジコム株	総合物流、3PL
	S B S フレイトサービス株	一般物流、路線事業、3PL
	S B S グローバルネットワーク株	国際物流
	S B S フレック株	食品物流、3PL
	S B S フレックネット株	食品物流
	S B S ゼンツウ株	食品物流、個人宅配
	S B S 即配サポート株	即日配送、廃棄物処理
	SBS Logistics Singapore Pte. Ltd.	国際物流
	S B S アセットマネジメント株	物流施設の開発、賃貸
	S B S スタッフ株	人材派遣、職業紹介
	S B S ファイナンス株	リース、保険、共同購買
	マーケティングパートナー株	マーケティング、通販事業
	S B S 自動車学校株	自動車運転教習事業
	東洋運輸倉庫株	通関業、3PL
	S B S 古河物流株	通関業、3PL

U R L : <https://www.sbs-group.co.jp>

■本件に関するお問い合わせ先

S B S ホールディングス株式会社 I R ・ 広報部

TEL:03-3829-2240 / e-mail:contact11@sbs-group.co.jp

※ 当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。